

夏休みの二世代楽級

夏休みに入り、親子で休日を通すことも多くなりました。この時期に合わせて二世代楽級が開催されました。

◎ 7月21日 富野小中学校

時折強い雨が降る中、三十七名の家族が集い、富野小中学校体育館の中で物づくり教室を楽しみました。市街地以外で初めての二世代楽級でした。



◎ 7月22日 真喜良第一団地自治会

真喜良第二団地の自治会室を利用したの開催となりました。参加人数も四十一名で、大変熱心な親が多く、会場設営にも協力していただき、スムーズな開催となりました。

最後にお礼の挨拶をした子供も、元気でしっかりとした態度で、良い親子



関係が築かれている印象でした。

◎ 7月28日 新川ドルフィンズ

新川小学校の教室の一部を使用し、宮良会長の一〇講座に、集まった親子五十名ほどが熱心に聞き入っていました。促進効果を取り入れた独特の指と腕の動きに、参加者全員が只ただアツけにとられて苦笑いするだけでしたが、脳の活性化には間違いなく効果がある



と聞かされ、納得していました。

この後、三班に別れて親子で竹トンボ、竹笛、紙ヒコーキ作りを楽しみました。

◎ 8月4日 新川一・インフォ会

広い新川公園内で、竹トンボと紙ヒコーキが縦横無尽に飛び回りました。また、周りの木々の小鳥達に負けなくらいに竹笛が響きわたり、参加した三十



三名の皆さんは大喜びでした。

炎天下の屋外での開催でしたが、東屋を中心に、もちろん熱中症対策を万全にとつて行ないました。はしゃぎまわる子ども達の姿が印象的でした。

物作りに参加した子どもの代表は、普段遊んだことのない遊びを学べて、とても面白く楽しかった、と感想を述べていました。



◎ 8月5日 真喜良サンウェーブサッカー部

真喜良小学校の体育館を使用して、サッカー部員を中心とした親子六十一名が参加しました。

事前に親に対する竹トンボ教室を開いていたこともあり、あちこちで親子で竹トンボ作りをしている姿が見られました。



今回の参加人数が最も多かったこともあり、講師側の対応に多少の混乱が見られたことが反省点でした。

◎ 8月12日 崎枝子ども会

台風が近づいている中、崎枝小学校の体育館を使用して、親子四十八名が参加しました。



天候を配慮して、当初予定していた公民館から広い体育館に変更していただいた学校関係者の皆さんに、改めてお礼申し上げます。

会の運営も、回を重ねる度に問題点が改善され、順調に夏休みの三世代染級を終了できました。来年に向けて弾みがつくものと思われれます。

チーム員の横顔

(4)

宮良 博之



- 元高校教諭
- 元市体育指導員
- 石垣市レクリエーション協会会長
- 昔遊び伝承会顧問

☆ 支援チームでの役割

支援チームの会長として、事務局及び各支援員の取りまとめを行い、事業全体の方向性を指導します。

☆ 抱負

昔遊びで学ぶ三世代楽級を通して、「あつたらいいな！こんな居場所」、全ての親が安心して子育てや家庭教育を行なえる地域や親子の居場所、子供にとっては気づいたら見つけ、見つけたら考え、考えたら良し悪しを判断し行動するという「生きる力」を育てる居場所、地域のじいちゃん、ばあちゃん達と交流できる居場所、そんな空間づくりを目指し、家庭教育支援チームの役割の理解と認知度を高め、市民権を得ることに努めたいと考えています。



心に響く”じよば”

先頭になって歩め・・・

母校の卒業式に、自分の言葉で祝辞をしてくださる先輩がいました。花吹雪を担当する在校生一年生の時、その先輩の名前すら知りませんでした。

翌年、会場に席を置いた在校生二年生、先輩の声が聞こえたが、何の話か聞き取れません。いよいよ私の卒業式。二年間の思い出がよぎります。

陸上部の仲間の顔、校庭の枯葉の渦、教室の窓から見える雲、恩師の言葉、共に卒業する級友、それらは最高の宝物として心の中で大切に保管されています。そして、あの気になっていた卒業式に逢った先輩が祝辞を述べました。県知事でした。「人の後から歩くより、先頭になって歩め。苦労はあるが、先頭が充実していて面白い。勇気を出して、先頭を歩め。」衝撃な言葉でした。

青年期に入る私達の卒業後の人生を示唆する言葉でした。メソメソし、思いに浸ってばかりではよくない。母校の教えを糧に、これからの道を先頭になって歩まなくちゃ、と闘志がメラメラと沸いた言葉でした。



お知らせ

☆ 教育講話と遊びリンピック

- ・講話「心の花は、昔遊びから咲いた」
- ・遊びリンピック(竹とんぼ、紙ヒコーキ、竹馬競技)

日時 平成三十年十月二十八日(日)
十三時～十六時三〇分

場所 市立真喜良小学校体育館



編集後記

夏休み中に開催(六回)された三世代楽級の子どもの声、「竹を使った遊びは初めてだった」、「自然の物からこんなに楽しい遊び道具が出来るんだ」、「この遊びを継承したい」、「両親や教育委員会の皆さんに感謝します」に、大人が感激した一日でした。

【編集発行】

石垣市家庭教育支援チーム(希杜南)

希：希望に満ち満ちた未来に

杜：人々に育まれた緑豊かな杜に

南：南ぬ島(ぱいぬしま)石垣島より

T907-0012

沖縄県石垣市美崎町16-6

石垣市教育委員会いきいき学び課

TEL 0980-83-0373

FAX 0980-83-9251